

## 「ノミの法則」

廣本 和也

皆さんはノミを知っていますよね？野良猫のお腹にくっついていたりする、あのノミです。ジャンプ力のある動物、生物はたくさんいますが、ノミはその中でもダントツでジャンプ力があります。ノミは体長が 1~9mm ですが、その体長の実に 150 倍もジャンプができるといわれています。これは人間なら、30 階建てのビルを飛び越えることになります。ものすごい力だということが実感できますね。

では、本題の「ノミの法則」に移りましょう。

ここに、1メートル飛ぶ力があるノミがいます。そのノミを高さ 30 cm のビンに入れて透明の蓋をかぶせます。するとノミは、ビンから逃げ出そうとして何度も何度も飛び上がり、透明の蓋にぶつかります。そしてしばらくすると、透明の蓋ギリギリのところまでしか飛ばなくなってしまいます。では、そのノミをビンから出してやると、一体どうなるのでしょうか。なんとそのノミは 30 cm 以上飛ぶことができなくなり、二度と 1m の高さまで飛ぶことはできなくなってしまいます。

では、もう一度 1m の高さまで飛ばせるためには、どうすればいいのでしょうか。一つだけ方法があります。それは、1m 飛んでいるノミの仲間の近くに「連れて行ってやる」ことだそうです。1m 飛んでいる仲間を見せてやることによって、1m 飛んでいた自分を思い出し、やがて飛べるようになるのだそうです。要するに、自分には出来ない・・・と「思い込み」をして、「自分で限界を決めてしまっている」ということです。自分自身でリミッターをかけてしまって諦めてしまっているのです。

皆さんも同じような経験はないでしょうか。何かに取り組む前から、「自分にはできない。難しい。無理だ。」と決めつけてしまい、やるべきことに向き合えない、向き合おうとしない、逃げてしまう、そんなことはないでしょうか。確かに、思い切って挑戦をし、自分の思っていたような成果が出せなかった、うまくいかなかった、失敗したという経験があると、不安や恐怖が強く残ってしまい、次の一歩が出なくなってしまいます。でも、歩みを止めたまましていると、自分の世界は狭まるばかりです。

皆さんは、今、若さとパワー溢れる無限大の可能性をもった高校生です。自分自身を信じ、限界を作らず、あらゆることにどんどん挑戦してください。すると、蓋の外に広がる新しい景色を見ることができ、まだ見ぬ自分にきっと出会えます。毎日の宿題でも、放課後の部活動でも、自分ができる小さなことからぜひ始めてみてください。そして、一人一人が 1メートル飛べるノミとなり、お互いが切磋琢磨し、高め合える三瓶高校生になりましょう。